

今回報告の定例会は



令和3年3月号

たてやま議会だより

主な内容

議会報告会	2～3頁
議案の概要	4～7頁
一般質問	8～13頁
議会通信	14頁



Citrus
Ribbon
PROJECT

未来に残したい館山の風景



高速ジェット船セブンアイランド
春の定期運航 (2019年2月撮影)
撮影者：渡辺秀夫さん

第6回議会報告会

市議会への「意見・要望」募集結果

議会改革・市民の声を市政に
自然災害や有害鳥獣の対策強化を

お寄せいただいた市議会への意見等は、市議会HPに全文（個人情報や掲載不可と判断した語句・文言を一部削除・修正）を紹介しています。

館山市議会では、市民の皆さんとの意見交換の場の一つとして、全議員が各地区に出向き、議会活動を報告し、市民の関心や意見を直接聴き取る議会報告会を例年、秋季に開催してきました。本年度は、緊急課題とするコロナ禍の中で、感染リスクを考慮した「市民との対話」を維持するため、「議会だより」や「市議会HP」等を通じて、市議会への意見等を募集しました。お寄せいただいた市民の皆さんの声をご紹介します。

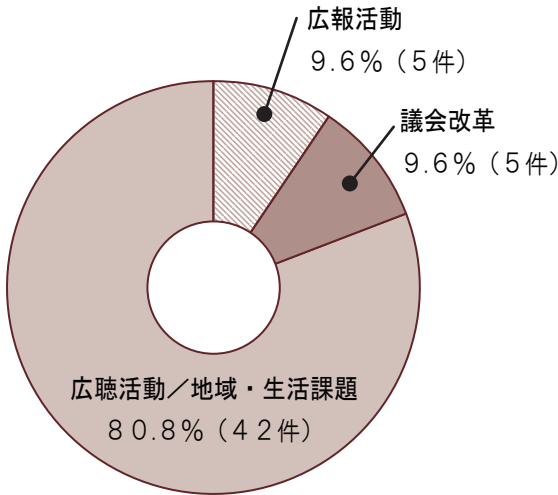


図1 市議会への意見等（議会機能別）

幅広い年齢層から寄せられた
広報広聴、議会改革への意見・要望

第6回議会報告会では、約2ヶ月間の募集期間を経て、30代から80代と幅広い年代に及ぶ市民32人の皆さんから市議会活動や議会改革への意見とともに、数多くの地域・生活課題に関する意見や要望等52件が寄せられました。お寄せいただいた意見等を議会の機能別に、議会の活動等を伝える「広報活動」、

広報活動

市民と議員との直接的な対話
民意を反映した十分な審議と報告を

市議会における「広報活動」は、年4回発行する「議会だより」や「議会報告会」等を通じて、議会が持つ監視、評価、政策立案・提言等、審議の経過や結果を市民に伝える重要な活動です。寄せられた意見等では、

地域の様々な課題等を掌握されている区長や各種委員、団体等からの意見を聴き取り、各議員の「一般質問」等で十分な議論や審議を行い、その結果を報告することを望む声がありました。また、全国的にも注目さ

意見交換を通じて、地域の課題を聴き取る「広聴活動／地域・生活課題」、議会運営の向上を図る「議会改革」に区分（図1）し、その概要をご紹介します。



れている「前澤友作館山応援基金」による「食のまちづくり拠点施設整備事業」など、館山市の未来を展望する大規模事業等に対する「議案審議」の経過等、市議会の判断や考え方を広く、多くの市民へ説明するなど、コロナ禍において中断されている「議会報告会」や「議会傍聴」の早期再開を望む声がありました。

地域・生活課題を市政へ 市民との対話と議論を止めない



館山市議会議長 石井 信重

コロナ禍において、千葉県内では「一般質問」や「議会報告会」を中止するなど議会機能が制御される中で、館山市議会では、時間短縮に留めた「一般質問」や意見募集形式による「議会報告会」の実施等、その責務である対話と議論を維持し、年4回の定例会に加え、年6回に及ぶ臨時会等を通じて、この難局を乗り越えるため積極的に活動してきました。

お寄せいただいた貴重なご意見は、市長等の執行部へ伝達するとともに、今後の議案審議や一般質問等の議論の場や議会活動に活かし、「市民に開かれた議会」「市民に信頼される議会」の具現化と市民福祉の向上に努めていきます。

昨年を振り返りますと、相次ぐ自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、市民生活や地域医療、地域経済へ大きな打撃を受ける等、その収束と立て直しが喫緊の課題となっています。

消防・防災をはじめ、地域医療・福祉、地域経済、教育・文化などの各分野でご活躍されている皆さんの力添えによって、市議会といたしましても、地域の課題を丁寧に見聞きし、明るく豊かな「ふるさと館山」の進展に、更なる努力をしていきます。

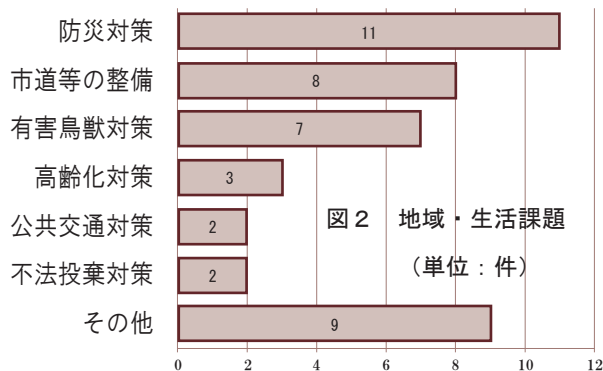
議会改革

将来を展望した分析と政策立案 議会ICT等、議会力の向上を

議会活動の基本的な理念を掲げた「館山市議会基本条例」では、「市民に開かれた議会（広報広聴）」による地域の要望（充足していない市民ニーズ）の掘り起こしとともに、「市民参加を推進する議会」として、市政・議会

活動への関心や参画・協働の場を創り上げること、市民に信頼される議会」の具現化を図る、と定めています。議会改革に関する意見では、地域の要望をまとめる従来からの議員活動以上に、積極的な「企業誘致・雇用

創出」をはじめ、「未来の館山を見据えた高く、広い視点」と民意を反映した「判断」と「自己評価」、「少数精鋭」による「高度な能力とスキルを兼ね備えた人材が集まる仕組み」や、タブレット端末の導入等「議会ICT（情報通信技術）」によるペーパーレス化と幅広い情報収集・情報分析等の業務改革」等の意見・要望が寄せられました。



市議会の役割である市政の監視や評価、政策立案・提言等を行う上で、多様な地域・生活課題を聴き取る「市民との対話（広聴活動）」は、議会活動において重要な活動です。寄せられた意見等（図2）では、相次ぐ自然災害に対する「防災対策」が最も多く、高齢者等に配慮した災害情報伝達手段の普及や、集会場等をはじめとする避難所や備蓄品の確保等についての

聴動広活

市民が今、何に困っているのか 自然災害や有害鳥獣の対策強化を

課題等がありました。また、生活圏域における危険箇所や市道、通学路への街路灯の整備など「市道等の整備・安全対策」への意見や、市内での捕獲件数が前年の2倍以上となり、民家敷地内や城山公園への出没が大きく報道された「有害鳥獣対策」、高齢者等にやさしい歩道等への休憩場所の設置やバリアフリー等の施設整備、地域公共交通・循環バスの開設、環境美化・不法投棄対策の他、空き家対策や里山の整備、動物愛護、魅力ある寄港地・館山港の整備と客船誘致等への意見・要望が寄せられました。

12月
定例会

市民生活の安定確保と地域産業振興へ

コロナ対策・食まち関連の補正予算等16件を議決



令和2年12月定例会は11月30日に招集され、12月17日までの18日間の会期で開催し、市長提案の条例議案9件、一般議案1件及び補正予算4件、議員提案による発議案2件と請願1件を審議しました。

議案第83号は定例会初日に先議（解説①）し、各議案と請願は所管する常任委員会に審査を付託し、最終日に各委員会の審査結果の報告を経て、追加議案とともに審議を行いました。

慎重審議の結果、各議案は原案どおり全会一致で可決し、請願は賛成少数として採択しないものとなりました。

総務

食まち拠点施設5億6千万円規模 債務負担等の関連議案を審議

総務委員会には、4件の議案が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答は、次のとおりです。

議論点



◇議案第93号 令和2年度
館山市一般会計補正予算（第9号）Ⅱ歳入歳出それぞれ3億4千103万5千円を追

加し、総額294億3千516万6千円とするものです。主な内容等は、次のとおりです。



総務委員会による審議

委員長

望月 昇

副委員長

石井 敬之

委員

佐野 聖一

倉田 孝浩

室 厚美

榎本 祐三



先議（せんぎ） 通常、議案は予定された採決日や閉会日に議決しますが、その日を待たずに会期の途中で議決することをいいます。

第6回 臨時会

学習環境を整備 GIGAスクール

令和2年第6回臨時会は、11月4日に開催され、市長提案の議案2件の審議を行い、原案どおり全会一致で可決しました。

◇議案第81号 財産の取得について

GIGAスクール整備事業における児童生徒への一人1台端末環境の整備として、タブレット型パーソナルコンピュータ等を富士ゼロックス千葉株式会社から2億300万円をもって購入するものです。



◇議案第82号 財産の取得について

GIGAスクール整備事業において大型の液晶ディスプレイ等を株式会社ヤマスから2千288万円をもって購入するものです。



文教民生委員会による審議

文教 民生

旧学校給食センター跡地利用等 議案5件・請願1件を審議

議論 論点

文教民生委員会には、5件の議案と1件の請願が付託され、慎重審議の結果、議案は全員一致をもって原案どおり可決すべきと決し、請願は「賛成なし」をもって採択しないものと決しました。主な議案の内容と質疑応答は、次のとおりです。

◇議案第88号 館山市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
館山市学校給食センター

整備運営事業による施設の移転に伴い、令和3年1月に供用開始を予定している館山市学校給食センターの位置を改正するものです。



旧学校給食センター

問 旧給食センターの跡地の予定について伺います。
答 令和3年度に解体工事を行い、更地の状態にし、普通財産化（解説③）した上で今後の検討をしていきます。

用語の 解説③

普通財産 市が保有する財産は「公有財産」と呼ばれ、「行政財産」と「普通財産」に区分されます。

普通財産は行政財産と異なり、直接的に行政執行上の手段として使用されるものではなく、主として「経済的価値の発揮」を目的に、貸し付け、交換、売り払い、譲渡等することで、市の財政に寄与するものです。

債務負担行為（解説②）の補正 地域産業の振興に資する仕組み作りの拠点となる施設を整備するため、事業者選定の公募を行う「食のまちづくり拠点施設」整備事業及び指定管理委託料、また、館山産ジビエのブランド化を図るため、事業者選定の公募を行う「ジビエ加工処理施設」整備事業及び指定管理委託料の債務負担行為の追加を行うものです。その他、小中学校へのIC

Ｔ支援員派遣事業外12件を追加するものです。

問 「食のまちづくり拠点施設」整備事業及び指定管理委託料について、20年間で4億円の予算は、毎年2千万円の予算付けをして支払うのか、また、その根拠について伺います。

答 指定管理として20年間の契約をし、その内の当該年度分は毎年度、公的な部分である駐車場やトイレ等、維

持管理するための経費の積み上げとして2千万円の予算措置を行うものです。

問 拠点施設整備は、稲の土地の活用から検討が始まったということだが、道の駅の機能を付けるとなった場合、他にも候補地がないか検討をしましたか。

答 この事業は、旧公設地方卸売市場用地の活用を前提としたものであり、他の候補地は検討していません。

【賛成討論】 事業計画など

事業の良し悪しを判断できる十分な材料がまだ揃っていないが、食のまちづくりの考え方や目的、特に地域の豊富な農水産資源を観光や商工業で活かし、農水産業の6次産業化、農工商連携、地産地消、交流人口の拡大等を目指すという点には賛同し、検討を前に進めるために必要な債務負担行為の設定という意味で今回は賛成する、との討論がありました。

用語の 解説②

債務負担行為 自治体の予算は、単年度主義が原則となっており、毎年度必要とされる予算（歳入・歳出）を編成し、議会の議決を

経て執行されるものです。一方、債務負担行為とは、複数年度に及ぶ契約行為を行うため、設定される予算であり、通常予算と同様に議会の議決を経て契約手続きを行い、複数年度に渡る債務（歳出予算）を担保するものです。



建設経済委員会による審議

建設経済委員会には、3件の議案が付託され、審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な内容等は、次のとおりです。

設 経

下水道事業会計 条例改正等議案3件を審議

委員長

石井 敏宏

副委員長

龍崎 滋

委員

長谷川 秀徳

石井 信重

秋山 光章

本橋 亮一

◇議案第91号 館山市公共

下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

水道の業務に関し、議会の議決を要する法律上、市の義務に属する損害賠償の金額について、「専決処分事項の指定について」に規定する金額と同額とする改正を行うおととするものです。

問 令和元年12月議会で市長の専決処分事項の指定について、議員発議で100万円以下としてお

り、同額への改正ですが、この時期になった理由を伺います。

答 本条例は地方公営企業法に基づいて制定され、地方自治法が定める法律上、地方公共団体の義務に属する損害賠償の決定については、地方公営企業法では、議決案件として適用除外となつていますが、整合性等を十分に考慮しつつ、慎重に検討した結果、改正を行うものです。

◇議案第96号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出の補正として、歳入歳出それぞれ3千264万1千円を追加し、総額294億6千780万7千とするものです。

主な内容は、市民生活の安定確保を早急に図る必要があることから、国の支援制度を活用した新型コロナウイルス感染症の対策費用に係る次の2事業と、老朽化に伴い故障した館野保育園の空調機の更新を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

◇請願第8号 別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備と支援を求める請願

問 法整備がされた場合、どのようなデメリットが想定されますか。

答 親の一方的な権利ばかりが主張され、子どもの気持ちに寄り添っていないという内容の法律になってしまった場合、親は幸せだが

子どもは不幸というような結果になることも十分考えられます。

【反対討論】 子どもの最善の利益という点で考えると、本請願の趣旨に対しては賛同するが、子どもと別居親との面会交流に関しては、DV被害者の全国ネットワーク等の団体から、こ

の法整備がされることにより、子どもの不利益につながるのではないかとという反対意見が多数寄せられているようです。

国においても議論が進められているので、今はこれらの動向を見守る時期であると考え、との反対討論がありました。

追 加 案

高齢者等PCR検査費用を助成

議会最終日、追加議案として提出された議案の主な内容は、次のとおりです。

◇議案第96号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出の補正として、歳入歳出それぞれ3千264万1千円を追加し、総額294億6千780万7千とするものです。

主な内容は、市民生活の安定確保を早急に図る必要があることから、国の支援制度を活用した新型コロナウイルス感染症の対策費用に係る次の2事業と、老朽化に伴い故障した館野保育園の空調機の更新を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

民生費／ひとり親世帯臨時特別給付金費(2千364万1千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい生活環境にかかっている、ひとり親世帯について、国の支援制度に基づく追加支給を行うものです。

衛生費／高齢者等PCR検査助成事業(600万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する方のPCR検査費用の一部を助成するものです。

議員発議

JR内房線

ワンマン運転の安全性確保 沿線住民・利用者への説明会の開催を

◇発議案第7号 JR内房線における「ワンマン運転」について、住民や利用者への説明を行い、安全性が十分に確認されるまで導入しないことを求める意見書に

ついて

【提案理由】 令和2年になつてJR内房線におけるワンマン運転車両の導入計画が関係自治体に説明され、沿線の住民や利用者の驚き

が関係自治体に説明され、沿線の住民や利用者の驚き

が関係自治体に説明され、沿線の住民や利用者の驚き

が関係自治体に説明され、沿線の住民や利用者の驚き

が関係自治体に説明され、沿線の住民や利用者の驚き

令和2年第6回臨時会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決 結 果
議案第 81 号	財産の取得について	—	原案可決 全会一致
議案第 82 号	財産の取得について	—	原案可決 全会一致

令和2年第4回定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決 結 果
議案第 83 号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第 84 号	館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決 全会一致
議案第 85 号	館山市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決 全会一致
議案第 86 号	財産の譲渡について	総 務	原案可決 全会一致
議案第 87 号	館山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第 88 号	館山市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第 89 号	館山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第 90 号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第 91 号	館山市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第 92 号	館山市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第 93 号	令和2年度館山市一般会計補正予算（第9号）	総 務	原案可決 全会一致
議案第 94 号	令和2年度館山市下水道事業会計補正予算（第1号）	建設経済	原案可決 全会一致
議案第 95 号	令和2年度館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	文教民生	原案可決 全会一致
議案第 96 号	令和2年度館山市一般会計補正予算（第10号）	—	原案可決 全会一致
発議案第 6 号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
発議案第 7 号	JR内房線における「ワンマン運転」について、住民や利用者への説明を行い、安全性が十分に確認されるまで導入しないことを求める意見書について	—	原案可決 全会一致
請願第 8 号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備と支援を求める請願	文教民生	不 採 択 賛成少数

令和2年第4回定例会
議案等の賛否

賛否が分れたもののみ掲載

議員名	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇
議案等番号	請願第8号	×	×	×	×	○	×	×	×
議員名	石井敬之	太田浩	龍崎滋	石井信重	鈴木正一	秋山光章	榎本祐三	本橋亮一	鈴木順子
議案等番号	請願第8号	×	×	×	議長	×	×	×	×

とともに安全性を危惧する声が高まっています。身体が不自由な障がいを持つ方にとっては、運転士だけになるワンマン運転化は非常に大きな不安があります。この不安は高齢者も同様で、高齢化率の高い内房エリアでは深刻な問題です。

また、野生動物が頻繁に車両と衝突しています。運転士1人が乗客の安全確保と車両の後処理を適切に行うのは困難ではないか、さらに、高校生の通学が多

【意見書の提出】 本発議案は可決後、衆議院・参議院議長、国土交通大臣等へ意見書を提出しました。

い時間帯にワンマン運転を導入することなどの問題があり、沿線住民や利用者に対して説明会があるべきだと考えます。

従って、関係機関に対し、JR内房線におけるワンマン運転について、安全性が十分に確認されるまで導入しないことを要請するものです。

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

主災 自防

被害状況確認等の様式の統一化 防災備品や組織力の把握と支援を



龍崎 滋議員
3期目・66歳・広島
公明党・建設経済委
員会副委員長

でしょうか。

答 他の事例を参考として館山市版の町内会ハンドブックの作成を検討します。

食まち拠点施設

理念と目的を共有
運営事業者・生産者等
との協議の場を

問 たてやま食のまちづくり計画の理念と目的を伺います。

答 食のまちづくりは、消費者、飲食店や観光事業者、生産者の3者がそれぞれの立場で地産地消を基本に、おいしい食づくりに取り組むことで、市民が地域の豊かさを実感できるとともに、都市部の人が訪れたくなるような、豊かで魅力的なまちづくり

を理念としています。

また、農水産業の6次産業化、農商工連携、地産地消、交流人口の拡大などを推進し、地域の産業全体を活性化することにより、生産者と事業者が相互に経済的利益を享受することを目的としています。

さらに、市民の食生活を豊かにすることや、雇用の場や定住人口の増加などの波及

環境 美化

日常生活における環境美化 道路の安全で良好な環境整備を



倉田 孝浩議員
1期目・60歳・館山
新政クラブ
総務委員会委員

問 ごみの搬出場所について、市民からどのような問合せや苦情が寄せられているのか伺います。

答 「ガラスによるごみの散乱」や「警告シールが貼られ回収されなかった」「ごみの分別のルールはどうなっているのか」等の問合せや、

効果も目指します。

解説 安心・安全の地域づくりのために、町内会や自主防災組織の活動をどのように行政が支援するかという質問を2題。また、ようやく動き出した「食のまちづくり拠点施設」の整備について、理念と目的を運営事業者が市の方針に沿うための協議の場を持つことを提案しました。

業や防草シートの設置等を計画的に国・県が年に数回実施しています。

市道については、樹木の剪定、病害虫の防除と併せて年に2、3回の除草作業を委託し、また交通量の多い郊外の幹線道路や見通しの悪いカーブの区間、交差点周辺等については、業者委託及び市職員による草刈りを実施しています。

解説 ごみの搬出場所は、市内約1千600か所に及びます。ごみの搬出場所の管理をはじめ、道路や側溝、海岸の清掃等、日頃から環境美化にご尽力いただいている皆さんに感謝する一方で、不適切なごみの搬出や苦情が絶えない状況にあります。

日常生活での環境美化をより一層進めるため、他市の事例でも見受けられるインパクトのある啓発ポスターの作成等を要望しました。

また、道路の安全性の確保や観光地としての良好な景観を保つため、国道・県道の除草回数を増やすよう、国や県への働きかけを要望しました。

山
中
学
校新設される館山中学校
安心・安全な通学環境の確保を望月 昇議員
3期目・63歳・北条
新政クラブ
総務委員会委員長

問 令和元年6月に開催された第二中学校と第三中学校の統合に関する説明会から、様々な議論が交わされ、新たに館山中学校の開校に向けて準備が進められています。

大規模校となる館山中学校周辺の通学路やスクールバス等の通学手段、第二中学校敷地内の校舎以外の整備状況について伺います。

答 通学路の整備については、統合により現第二中学校に通う生徒数は倍以上となるため、学校などからの要望や意見に基づき、必要な交通安全施設の整備に取り組んでいます。

現段階での通学手段別では、スクールバスが約70人、徒歩が約200人、自転車

が約450人と想定しています。

スクールバスの通学手段については、第三中学校の学区から通学している生徒の通学距離が延びることから、乗車対象地域や乗降場所の調整を進めています。

乗車人数が増えても現在使用しているスクールバスで対応が可能であるため、現行の3台での運行を予定しています。

校舎以外の改修は、駐輪場の増設や市民体育館西側の樹木等を撤去し、舗装した上で駐車スペースを確保します。生徒の送迎車両も増加することが予測されるため、学校周辺の空き地を2か所借用する予定です。

解説 4月から館山中学校が新設され、720人の生徒が通学する安房地域でも有数の大規模校が開校します。

通学範囲が広がり、生徒全体の約63%である約450人の生徒が自転車で通学す

ることになり、朝の通勤時間帯に市街地を通学する生徒は、その多くが踏切や横断歩道を渡ることになります。

通学時の交通安全対策が重要な課題と考え、スクール

バスの柔軟な運行や保護者の送迎車両への対応とともに、必要な交通安全施設の整備等、生徒の安心・安全な通学環境の確保を強く要望しました。

農
業
支
援「食まち」支える豊かな農水産物
新規就農・担い手を増やす取組を鈴木 ひとみ議員
1期目・62歳・佐野
新政クラブ
文教民生委員会委員

問 高齢化による農業従事者の減少や耕作放棄地への対策について伺います。

答 農業の担い手の確保・育成と農地保全の計画を作成する「人・農地プラン」が令和元年度までに6地区で作成され、アンケート調査が終了した2地区で協議を進めています。

また、農地中間管理事業による農地の利用集積は、令和元年度が30件、7.1haで、耕作放棄防止に役立っていま

す。

過去3年間の新規就農者数は、平成29年度が5名、平成30年度が4名、令和元年度が8名となっています。

青年等就農資金や農業次世代人材投資事業などの支援策の周知に努めるほか、NPO法人おせつ会の移住相談での連携や、ホームページでのPR等、移住やUターンによる就農を進めていきたいと考えています。

解説 食のまちづくりのために、豊かな農水産物の供給は必須です。農家の高齢化による農業従事者の激減が予想される中、耕作放棄地の増加を防ぎ、農業の担い手を増やす取組が急務となっています。

地球温暖化対策

異常気象の影響を受けやすい第一次産業
積極的な対策を

問 地球温暖化防止のための取組について伺います。

答 市民に対する4R（リデュース・リユース・リサイクル・リペア）の推進や、ごみの分別についての啓発を行い、二酸化炭素の排出削減に取り組んでいます。住宅用省エネルギーシステム設置に対する補助事業の継続や、公共施設への太陽光発電システム等の導入検討など、再生可能エネルギーの活用を進めたいと考えています。

解説 地球温暖化に伴う異常気象により、食を支える一次産業は大きな影響を受けており、令和元年の台風被害の際にも、地球温暖化を防がなければならないという声が多く、市民から聞かれました。市として、地球温暖化対策に積極的に取り組む姿勢を見せていくことは重要だと考えます。

養育費
支援

離婚後の養育費と面会交流
公正証書作成等の支援情報の発信を



石井 敏宏議員
3期目・48歳・上真倉
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員長

おいては、こども課や社会福祉課等の窓口でご相談をお受けし、内容に応じて、専門的な相談先を紹介している状況となっています。

養育費と面会については、法的解釈も必要となること

から、今後も専門的な相談先を紹介することで対応していきたいと考えています。

解説 養育費と面会交流については、離婚時に公正証書で取り決めておかないと、後で困ることになります。

取り決めがなされるように、市のホームページなどで周知を図っていくことが大事だと思います。

防災
対策

館富トンネル4車線化に一步前進
富津館山
道路等 国へ継続的な働きかけを



榎本 祐三議員
5期目・75歳・笠名
たてやま21・緑風会
総務委員会委員

計を行い、工事の内容や整備時期等について検討していくと聞いております。

問 国道127号防炎対策事業は、館富トンネル4車線化に向けての事業ですが、その見通しについてはどのような把握されていますか。

答 国からは、令和2年度に測量及び施工ヤードの整備を予定しており、4車線化の着工に向け、今後、調査・設



4車線化が進められる館富トンネル付近

解説

懸案であった館富トンネル4車線化の事業は一步前進しましたが、トンネル工事は先になります。

当該事業をはじめ富津館山道路の4車線化や、地域高規格道路「館山・鴨川道路」の完成は、この地方の発展に欠かせないことから、継続した国への働きかけを要望しました。

有害鳥獣対策

問 ジビエ加工処理施設等を設置する計画ですが、どのような検討をされたのでしょうか。また、近隣市町の状態を踏まえ、広域で対応することについてどのように考えますか。

答 有害鳥獣対策活動を展開している地域おこし協力隊員からの提言や先進事例を基に検討しました。専門的な技術やノウハウが必要なことから、民間業者が施設の設計・建設から維持管理・運

営までを包括的に実施することとしました。

また、広域での対応についてはスケールメリットもありますので、今回の市の実績を踏まえて対応していきます。

解説 有害鳥獣については、近隣市町も対応に苦慮しているところと見えます。特にイノシシの増加は著しく、昨年は館山市でも2千頭を超え、安房地方全体で1万頭を超える見通しです。今回の取組で捕獲後の処理を実施することになりましたが、その数が少ないことから精肉をペットフードや養殖魚の餌にする取組を提案しました。



捕獲されたイノシシ

安房地域で一万頭に及ぶ捕獲頭数
広域処理・食肉用途以外の利用促進を

船致
客誘夕日桟橋のフルスペック化と客船誘致
後背地のブラッシュアップを

秋山 光章議員
5期目・74歳・大井
市民クラブ
建設経済委員会委員

問 館山夕日桟橋の拡張の進捗状況と、桟橋に接岸した大型客船の乗客数や訪問先について伺います。

答 港湾管理者の千葉県から、利用者の安全性や緊急時の車両進入の動線を確保するため、令和2年度事業として、桟橋先端部の一部拡張を行うための基本設計を既に行っており、今後、実施設計に取りかかる予定と伺っています。

平成22年4月の供用開始以降、夕日桟橋には多種多様な船舶が寄港しており、総数で約120隻、定期観光をしている館山海中観光船を含めると、延べ1万3千750回、約21万2千人が乗下船しています。クルーズ船の寄港は延べ25隻で、にっぽん丸

が16回で6千379人、ぱしふいづくびいなすが7回で2千44人、ふじ丸が2回で539人となっています。乗客の約6割以上がイチゴ狩りや花摘み、海中観光船の貸切ツアー、おいしいもの巡りツアー等に参加しています。

問 客船誘致にも大きなインパクトとなる里見氏の大河ドラマ化に向けての施策について伺います。

答 民間有志の「里見氏大河ドラマ化実行委員会」が中心となり、里見氏ゆかりの国内各地に対して活動の輪を広げるなど、熱心な活動が展開されています。行政としての役割を踏まえ、引き続き、里見氏の史実を学ぶ機会の確保や機運の醸成に努め、同実行委員会の活動を支援していきたいと考えています。

解説 大型客船とともに、ヨット等が寄港できる小型桟橋の整備は経済効果が大きく、消波スクリーンの設置等、

フルスペック化に向けた千葉県への働きかけや後背地のブラッシュアップについて要望しました。

旧鳩山荘の状況

問 令和元年の房総半島台風で被災した、館山市所有

の旧鳩山荘の破損箇所の修繕は1年以上経過したが、未だにそのままだが、どのような状況ですか。

答 現在、係争中なので答えられません。

解説 修繕を進めなければ、市民の市有財産の価値が下がり、誰が責任を負うのか等、質問しました。

労援
就支就労を望む障がい者への支援
居場所・働く場所づくりを

鈴木 順子議員
8期目・70歳・下真倉
社会民主党・文教民生
委員会副委員長

問 就労を望む障がい者が日常生活をどう過ごしているか、状況を把握していますか。

答 第6期障害福祉計画の策定のため、10月に関連で行ったアンケート調査結果では、「一般就労20・5%」「自宅でも働いていない21・9%」「福祉施設で就労11・4%」「通園・通学8・6%」

「通院・リハビリ等20・4%」「家事手伝い7・2%」「その他・無回答10・0%」となっています。

解説 アンケート結果から分かるように、自宅でも働いていない方が多いと感じますが、障がいの状態にもよりますが、障がいがあっても働きたいと思っている人がいます。

本人はもとより、家族の方にとつては心配しているのも事実です。働く場をつくることで支援につなげることを望みます。

福祉避難所

障がいに応じた

避難所の確保と周知を

問 障がい者の災害時の避難場所のあり方について、障がいの状態に対応する必要があることから、個々の状態に併せた避難場所を事前に周知しておくことができないでしょうか。

答 障がいの程度や特性に応じて、避難場所を提供していく必要があることから、多くの福祉避難所が確保でききょう市内の福祉施設等と協議しているところです。

事前の場所の明確化については、福祉施設等の空きスペースを利用するなど対応可能かどうかにより開設するため難しいが、何らかの方法で周知することは必要と考えています。

解説 災害発生により、避難場所をそれぞれの障がいの状態により決めていくのは時間もかかるし、本人にとつては不安でなりません。本人への事前周知は、工夫をして取り組むべきと思います。

域災
地防共助のための地域コミュニティ
自主防災組織の拡充・支援を

室 厚美議員

2期目・55歳・波左間
新しい風の会
総務委員会委員

イ連絡協議会を通じて情報交換の場を提供しています。

また、館山市市民協働条例を制定し、地域課題の解決などに向けた取組を支援しています。

問 地域力を強化させるための課題をどう考えているか伺います。

答 地域社会を取り巻く環境が大きく変化する中、地域課題を解決するには、行政だけでなく各町内会等や地区コミュニティ委員会の自発的な取組が求められているため、その活動に対し補助金を交付するとともに、町内会連合協議会やコミュニティ



地区で開催される応急救護訓練

問 令和元年の台風15号等への対応に関する総括はどう行ったのか伺います。

答 各町内会からの意見聴取や館山市議会から提供いただいた災害対応検証、全職員を対象としたアンケート調査、災害対策本部各班の振り返り調査等を実施し、現在、これらの取りまとめを行っているところです。

また、教訓や反省を踏まえ、各種マニュアル等の改訂を順次進めています。避難所での停電対策や多数の避難者の受入れなどから、発電機やエアベッドなどの防災用の資機材を相当数備蓄し、さらには感染予防の資機材も備蓄した他、収容人数を考慮した避難所の増設計画なども見直しました。

解説

甚大な被害を被った令和元年の台風15号の総括を1年以内にはしておくべきで、見直したこと等は分かりやすく随時、市民に情報提供するように要望しました。自主防災組織を全域に広

少子化
策対結婚時の経済的負担を支援
新生活支援事業の導入・検討を

瀬能 孝夫議員

3期目・63歳・佐野
公明党
文教民生委員会委員

問 結婚新生活支援事業の導入について伺います。

答 婚姻に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、住宅の取得費用や家賃、引っ越し費用について1世帯30万円を限度に支援するものが、来年度、都道府県主導のモデル事業に参画し、自治体間連携によって実施する場合、対象要件を満たしていれば60万円に引き上げ、市の負担も2分の1から3分の1に縮減される予定です。

めること、そのレベルアップ方法、避難場所にお寺を検討すること等の提案をすると共に、共助のため日頃から地域コミュニティ力を高めることが大切と訴え、具体案等を紹介しました。

千葉県がモデル事業を実施する場合には参画していきたいと考えており、出生数や人口減少への対応は喫緊の課題であることから、市単独での事業実施についても検討していきます。

市営住宅・入居条件

福祉事業的側面から
入居条件の緩和を

問 連帯保証人の規定廃止について伺います。

答 連帯保証人は、入居者が滞納した家賃等の債務履行だけでなく、緊急時における連絡先、退去手続きの代行

の他、滞納解消への協力等、賃貸住宅を運営する上で重要な役割を担う存在です。

全国の自治体の動向としては、約2割が保証人規定を削除、3割が館山市同様、保証人を求めるが、その確保が困難な場合は免除できる規定を設けています。その他は対応を検討中です。

解説 高齢化は時代の趨勢（すうせい）であり、単身世帯では連帯保証人の確保が困難になります。国土交通省では2018年3月に、公営住宅の入居基準から保証人規定を外すよう、強制的なものはありませんが、各自治体に通達が出されました。

館山市の市営住宅に関する条例には、特別の事情が認められれば保証人を必要としないという規定があります。ただし、この特例を知らずに申請を諦めてしまう懸念、特別の事情とする要件があいまいな点、また、高齢化社会を迎え、民間ではより入居が厳しい立場に置かれている方に対する福祉事業的側面等から鑑みて、先進的な取組である保証人の規定を外す方向で検討するよう訴えました。

有害鳥獣対策

学校周辺や公園に出没するイノシシ
登下校時の子ども達の安全対策を

石井 敬之議員

3期目・65歳・湊
市民クラブ
総務委員会副委員長

問 有害鳥獣対策事業について、館山小学校付近でイノシシが目撃されていますが、小学校の登下校時に具体的な対応を考えた方が良いのではないかと思います。

答 11月中旬頃から館山小学校の周辺で複数頭の群れの報告があり、12月に入ってから城山公園内及びその付近で目撃されるようになっていきます。そのため、館山市地域おこし協力隊と城山の公園管理者及び館山地区の有害鳥獣対策協議会に捕獲を依頼し、公園内に箱わなを設置する予定です。

また、児童生徒及び保護者に注意喚起を行っており、館山小学校では、登下校時、地域の見守り隊も子ども達の安全を見守っています。併せ

道路整備

各主要道路の整備促進
継続的な国等への
働きかけを

て、学校もイノシシの出没を把握しており、職員が自転車に乗り、子ども達の登下校を見守っているところです。

解説 イノシシが住宅街に出没し、住民に被害を与えるケースが増えています。子ども達が有害鳥獣を地域の課題として学習する機会や、近隣市との連携、捕獲への十分な支援等を要望しました。

問 都市計画道路船形館山線道路整備事業（船形バイパス）について、今年度は、どの程度の道路新設改良工事を行ったのか伺います。

答 全長から言えば約27%ですが、歩道部や車道部の仕上げ舗装など、最後に施工するものもあるので、現段

階では、道路の完成形とはなっていない。

問 地域高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進について、国・県に対する要望活動は行っているのか伺います。

答 地域高規格道路「館山・

被災者
被支住宅被害の工事未着手が約300件
再度の事業完了日の延長を

長谷川 秀徳議員

1期目・59歳・船形
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員

問 住宅被害の応急修理の事業完了件数を伺います。応急修理が完了していない被災者の現状は、どのようなになっていますか。

答 住宅の修理に関する支援を希望する被災者からの申請件数は3千976件、修理が完了し、市からの支払い手続が完了した件数は2千602件です。

残る1千400件の内、約600件は支援を決定し、現

鴨川道路」整備促進期成同盟会において、毎年実施しています。

解説 各道路の整備については、定期的・継続的に国・県等へ働きかけるよう要望しました。

在修理を進めており、300件については、自己資金や保険金等により修理が完了し、申請を取り下げる意思を示されています。

残る500件の内、修理完了が100件、工事中が100件、着手待ちが250件、修理内容や修理事業者の検討中が約50件の状況です。

解説 事業完了日が令和3年3月31日まで再延長になりそうですが、まだ工事待ち、工事未着手の被災者が約300件ありますので、全ての被災者の住宅修理を完了するため、再度の事業完了日の延長を望みます。

船形バイパス

着実な整備事業の推進
早期完成を

問 都市計画道路船形館山線「船形バイパス」について、現在の進捗状況を伺います。総事業費、事業完了予定はありますか。

答 南房総市境の仲尾川橋付近から市道3054号線までの300メートル区間の工事が、仕上げの舗装を残して、10月下旬に完了したところです。また、11月末時点の用地面積ベースで、69・9%となっています。

事業認可期間が、令和4年3月31日までとなっているため、令和3年度に事業認可の変更手続を行い、総事業費や事業期間の見直しをしていきます。

解説 船形バイパス事業は、予定していた令和4年3月31日には完了せず、また新たに令和3年度中に総事業費や事業期間の変更手続を行うということですが、新たな事業内容が決まりましたら、再度確認したいと思います。



食まち拠点施設等整備へ 館山市長へ要望書を提出

館山市議会では、市が公設民営により令和5年度の開業を目指している「食のまちづくり拠点施設」整備事業等に関し、今年2月に事業者の公募が開始されることを受け、太田副議長と石井建設経済委員長が1月14日、館山市長へ要望書を提出しました。

昨年11月に実施方針が公表された同事業は、九重地区稲の市有地を中心とした敷地約2.2ヘクタールを予定地に、農水産物の直売や飲食、加工ができる道の駅として整備し、加えて、出野尾の衛生



センター敷地内に有害鳥獣処理施設とジビエ加工処理施設を整備しようとするものです。

要望書では、方針の公表前に執行部へ提出した66項目もの質疑・要望事項や12月議会における議案審議等を経て、「運営事業者と生産者等との連携強化」や「予定地の優位性を活かした新たな観光戦略の構築と広域連携」等、9項目を要望しました。



未来に残したい館山の風景 表紙写真を募集しています！

議会だよりの表紙写真を募集しています。あなたの写真で表紙を飾りませんか。

☆募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

☆応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

☆応募方法

作品に撮影者の

住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。

詳しくは、「市議会HP」をご覧ください。



3月定例会の日程（予定）

開会日：2月25日（木）午前10時～

一般質問：3月2日（火）午前10時～

3月3日（水）午前10時～

（予備日）：3月4日（木）午前10時～

YouTube 市議会を動画配信



本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。

自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。

編集後記

昨秋以降、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかけられないため、1月7日、感染者の多い東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県を対象に緊急事態宣言が再発令されました。地域全体で命と健康を守る取組が求められています。

コロナ禍の差別や偏見をなくそうと、館山市でも「ただいま、おかえりつて言いあえるまちに」を合言葉に、3つの輪のリボンを身に付け、思いやりと優しさの気持ちを表す「シトラスリボンプロジェクト」が広がりをかせています。3つの輪は「地域」「家庭」「職場・学校」を示しています。今年も丑年。みんなで思いやりの心を持って、一步一步進み、一日でも早い終息を願うばかりです。（望月昇）

【議会報編集委員会】

委員長 石井 敬之
副委員長 石井 敏宏
委員 望月 昇
委員 鈴木 正一